

就学援助の入学前支給を！ 防災対策 オリジナルの婚姻届と出生届



森本 せつこ議員

就学援助は、児童・生徒の家庭が生活保護を受給するなど経済的に困窮している場合、学用品や給食、修学旅行などの一部を市区町村が支給し、国がその2分の1を補助する制度。「ランドセル等新入学児童生徒学用品費」について、入学前支給を可能にするための対応は。

山崎教育次長
新入学学用品費の支給額については国が要保護児童生徒援助費の単価を見直し、引き上げたことを受け、町でもそれに合わせて

単価を引き上げ、平成28年度支給額の2倍にあたる援助費を支給することとした。

町としては、国が交付要綱を一部改定し、入学前に支給した新入学学用品費も補助対象としたことと、全国、また、県内においても、就学援助費の入学前支給の実施予定がある自治体が増えはじめていると聞いているが、課題もあるので他市町村の実施方法も参考にしながら、さらに議論を深めたい。

自販機設置及び 災害協定の推進

森本議員

災害時における避難所や病院などのお湯など飲料の確保のための災害対応型紙カップ式自販機設置及び災害協定の推進状況は。

筒井総務課長

町では災害時に備えて各種団体と災害協定を締結している。災害対応型紙カップ式自販機については平成27年の関東豪雨災害でも避難所の方から冷たい飲み物が無償提供されたことや、乳児のミルク用にお湯が使用できたことなど、非常に好評であったと聞いている。

町では平成27年5月19日に、四電エンジニアリング(株)と協定を締結している。町有施設では本庁舎2階と3階、仁淀病院に1基ずつ計3基設置しており、冷水・温水の提供が可能だが、電源を喪失した場合は常温の水となる。災害時に町に3600ℓを優先的に提供いただく協定内容となっている。



本庁のウォーターサーバー

ヘルプカードの 導入、推進

森本議員

「ヘルプカード」は、障がい者や妊婦など困った場面で周囲の手助けを必要とする人が携帯し、外出時や災害時などに緊急連絡先や必要な支援内容を伝えるのに役立つ。東京都が標準様式を定めたことを契機にその反響が全国に広がっている。町でも導入、推進はできないか。

渋谷ほけん福祉課長

「ヘルプカード」を提出することによって支援が必要なこと、また、支援してもらいたい内容が分かるようになってきている。高知県内では県立療育福祉センターで配布している。県障害保険福祉課としては、他県の情報などを収集しながら前向きに検討を重ねているという状況で、町では「ヘルプマーク」の

啓発を行い「ヘルプカード」についても導入に向けて積極的に進める。

いの町への愛着を 深めるために

森本議員

松山市は先ごろ、入籍と出産をお祝いする気持ちをこめてオリジナルの婚姻届と出生届を作成した。いずれもピンク色や黄色を基調とした明るいデザインで、松山市を象徴する松山城や道後温泉本館、坊ちゃん列車が描かれている。町でも取り上げてはどうか。

池田町長

本人の希望があれば費用負担を伴うが、表彰状に使用する上質紙による婚姻届受理証明書を渡しており、結婚式の披露宴会場などに飾られるケースもある。お祝いの言葉も添えられる。今後においても、引き続き受理証明書を和紙で作成するなどオリジナルを検討する。